

平成23年度幸区区民会議

第6回全体会議 環境部会経過報告

平成24年1月26日

1

1. これまでの検討状況

前回の全体会議の検討結果

取り組み項目	項目の具体的な内容(前回までの決定事項)
(1)小中学生を対象としたゴミ分別出前講座の実施	・これまで検討してきた小中学校でのゴミ分別出前講座のメインコンテンツである「分別ゲーム」のプレゲームを実施し、検討を経て具体的な内容を定めた。
(2)ゴミ分別のマナーアップキャンペーンなどイベントの実施	・幸区民祭及びリレーカーニバルにおいて、ゴミ分別の意識啓発に繋がるPR活動を実施した。
(3)幸区民アンケートへの要望	・幸区が実施する区民アンケートに対し、「節電とゴミの分別について」「自転車マナーについて」の設問内容への要望を行った。

専門部会における検討

- ・第9回専門部会 平成23年11月1日開催
- ・第10回専門部会 平成23年12月7日開催

3

2. 専門部会における検討 (1)小中学校を対象とした出前講座

(1)「小中学生を対象とした出前講座」の経過報告

1)出前講座の実施状況

前回の全体会実施日である10/19(水)を皮切りに、これまで12の学校で出前講座を実施した。

学校名	実施予定日	実施時間	対象	川崎生活 環境事業所	幸区役所 企画課	区民会議委員	
下平間小学校	10月19日(水)	2、3限	5年生	2人		北野委員	神谷委員
戸手小学校	10月20日(木)	1、2、3、4限	4年生			押山委員	君和田委員
古川小学校	10月21日(金)	1、2、3、4限	5年生			君和田委員	
南河原小学校	10月24日(月)	2、3限	5年生			押山委員	北野委員
東小倉小学校	10月27日(木)	3、4限	4年生			北野委員	石野委員
古市場小学校	10月28日(金)	2、3限	5年生			石野委員	
南加瀬小学校	10月29日(土)	2、3、4限	5年生			神谷委員	押山委員
幸町小学校	11月14日(月)	2、3、4限	5年生			君和田委員	押山委員
御幸小学校	11月15日(火)	2、3、4限	5年生			君和田委員	
南加瀬中学校	11月16日(水)	10:30～	PTA			石原委員	神谷委員
西御幸小学校	11月25日(金)	5、6限	5年生			石野委員	齊藤委員
南河原中学校	1月20日(金)	1、2、3、4限	2年生			押山委員	西野委員
夢見ヶ崎小学校	2月28日(火)	2、3限	6年生			石原委員	神谷委員

4

2. 専門部会における検討 (1)小中学校を対象とした出前講座

2)出前講座の様子

①出前講座の項目(概要)

学校によって若干の変更はあるが、概ね以下の項目に示す内容で出前講座を実施した。

項目
●開会の挨拶 ・区民会議の概要の説明 ・出前講座実施の趣旨説明
●出前講座の概要説明
●分別ゲームの実施 ・（各班に分かれ）ゴミの分別（回答）の実施 ・答え合わせ（講師による解説）
●閉会の挨拶

5

2. 専門部会における検討 (1)小中学校を対象とした出前講座

②東小倉小学校での出前講座の様子(開会の挨拶)

区民会議委員が出前講座の趣旨等を説明した。



6

2. 専門部会における検討 (1)小中学校を対象とした出前講座

③御幸小学校での出前講座の様子(ゲームの回答)

分別ゲームの回答は、班で相談しながら5分間で24個のゴミを「プラスチック製容器包装」「ミックスパー」「普通ゴミ」「資源集団回収」「ペットボトル」に分別する方法。



7

2. 専門部会における検討 (1)小中学校を対象とした出前講座

④西御幸小学校での出前講座の様子(マスコミの取材)

西御幸小学校では、幸区・川崎区などをエリアとする「YOUテレビ」が取材に訪れた。この様子は、「地域情報番組 My You!」の中で2分程度放映された。(12/5から一週間1日5回放映)



8

2. 専門部会における検討 (1)小中学校を対象とした出前講座

⑤南河原中学校での出前講座の様子(講師による解説)

ゲームの答え合わせは、川崎生活環境事業所の職員が担当し、24個のゴミ別に各班の答えを確認し、分類方法などについて1つ1つ解説する形で実施した。



9

2. 専門部会における検討 (1)小中学校を対象とした出前講座

⑥下平間小学校での出前講座の様子(質疑応答)

答え合わせの後には、質疑応答の時間を設け、生徒からの質問に川崎生活環境事業所の職員が答えた。

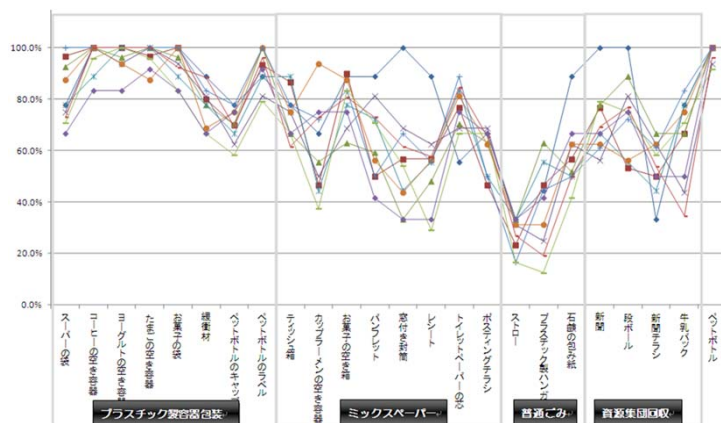


10

2. 専門部会における検討 (1)小中学校を対象とした出前講座

3) 分別ゲームの結果分析①

10小学校の出前講座終了後、学校別・設問別に正答率を集計し、ゴミを分別する際に間違いやすい種類などについて分析を試みた。

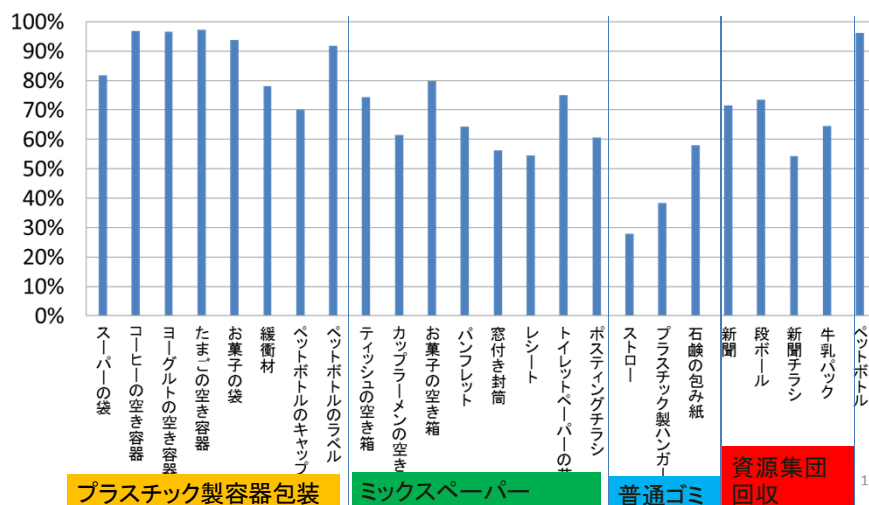


11

2. 専門部会における検討 (1)小中学校を対象とした出前講座

3) 分別ゲームの結果分析②

各ゴミの種類ごとの正答率は下のグラフのようになる。
ゴミの種類別の正答率



12

2. 専門部会における検討 (1)小中学校を対象とした出前講座

3)分別ゲームの結果分析②

「どの種のゴミの分別方法が理解しにくいのか」という今回の分析結果を活かし、今後、区や市のゴミ関連施策に活用されるよう提言していきたいと考える。

(分析の概要)

- ・プラスチックは、正答率が総じて高い
- ・ミックスペーパー・資源集団回収は、品目によって分類が難しいものもある

13

2. 専門部会における検討 (1)小中学校を対象とした出前講座

4)今後の展開

出前講座実施の効果を把握するため、学校の協力を得ながら、各家庭を対象としたアンケート調査を実施していく。

項目	設問
居住環境	問1 住んでいるところ(戸建てか集合住宅か)
講座実施前の状況	問2 今回の分別出前講座を受ける前まで、ミックスペーパー・プラスチック製容器包装の分別回収が去年3月から始まったことを知っていたか。
	問3 今回の分別講座を受ける前まではどのくらい分別ができていたか。 (実施状況を百分率で回答)
	問4 分別講座を受ける前まで、分別をしていなかったごみの種類はあるか。 (分別をしていなかったごみの種類を全て回答)
講座実施後の状況	問5 今回の分別講座を受けた後、どのくらい分別ができるようになったか。 (実施状況を百分率で回答)
	問6 分別講座を受けた後でも、分別をしていないごみの種類はあるか。 (分別をしていなかったごみの種類を全て回答)
	問7 分別講座を受けた後でも、分別していないものがある場合、その理由は何か。
分別への意見	問8 ミックスペーパー・プラスチック製容器包装の分別についての意見 (自由回答)

14

2. 専門部会における検討 (2) 自転車のマナーアップ

(2)「自転車のマナーアップ」の具体的な検討経過

1) 自転車走行の規制強化の動き

① 自転車を取り巻く近年の動向と警察庁の対応

健康意識の高まりによる自転車利用の増大や、東日本大震災により自転車が改めて見直される一方、速度超過やながら運転などにより、特に高齢者などの歩行者に危険をもたらす行為が増大、これらの問題が顕在化・社会問題化している状況にある。

このような状況を背景に、昨年10月25日に警察庁が「良好な自転車交通秩序の実現のための総合対策の推進について」との通達を発表。主に歩道における自転車走行の規制強化に向けた施策を位置付けている。

15

2. 専門部会における検討 (2) 自転車のマナーアップ

1) 自転車走行の規制強化の動き

②「良好な自転車交通秩序の実現のための総合対策の推進について」のポイント

総合対策は、以下の3つの柱から構成されている。

1. 通行環境の確立(ハード施策)
2. ルール周知と安全教育の推進(ソフト施策)
3. 指導取締りの強化(ソフト施策)

特に、「指導取締りの強化」の中では、具体の施策として「交通ボランティア等と連携した街頭活動の強化」についても位置付けを行っていることから、今後の展開として、警察と連携した意識啓発活動を行っていくことも視野に入れ、検討していく。

16

2. 専門部会における検討 (2) 自転車のマナーアップ

(2)「自転車のマナーアップ」の具体的な検討経過

2) 具体の実施内容についての意見①

これまでの議論や近年の動向を踏まえ、各委員が改めて具体的な取り組み内容を提案した。

これらの提案を元に、実現可能性などを考慮しながら、今後実施を想定する施策を複数設定した。

部会での意見	内容の詳細
警察と連携したマナーPR活動	・ボランティアだけでは実効性に限界があるため、幸警察署等と連携し、街頭でチラシ配布などのPRを実施。
回覧板を活用したマナーアップPR活動	・自転車マナーなどを説明するような内容のチラシ等を作成し、町会単位で回覧板を回す。(回覧板なら粗品も不要で金銭面での課題が少ないことがポイント)

2. 専門部会における検討 (2) 自転車のマナーアップ

(2)「自転車のマナーアップ」の具体的な検討経過

2) 具体の実施内容についての意見②

部会での意見	内容の詳細
その他	・マナーを向上させるには、厳罰化が必要であることから、「自転車の自賠責保険の導入」「交通違反の罰則細分化」の2つが必要である。 ・お年寄りの自転車も危険なケースが多い。バランス感覚が欠けてしまっている、足がつかないのに乗っているなど問題が多い。 ・2人乗りは原則禁止だが、乳幼児3人も乗せて走っている人など(合法でも)危険は大きい。警察側が取締りの策を用意できていない。 ・インパクトを与えることも重要なので、幸区で全国に発信するような大胆な取り組みを行っていく。

18

2. 専門部会における検討 (2) 自転車のマナーアップ

3) 今後実施を検討する取り組み(案)

部会での検討の結果、今後実施を検討する取り組みとして、以下の3つについて具体的な内容を検討中である。

1. 警察と連携したマナーPR活動
2. 回覧板を活用したマナーアップPR活動
3. 幸区「自転車の日」の制定

19

2. 専門部会における検討 (2) 自転車のマナーアップ

4) 「日吉まつり」での自転車のマナーアップPR活動

11月20日に行われた「日吉まつり」の際、区民会議が設置したブース及び周辺において、自転車のマナーアップ啓発活動を実施した。



20